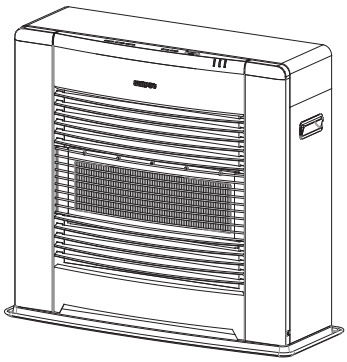
sunpot

サンポットガスFF暖房機

取扱説明書（保証書付）

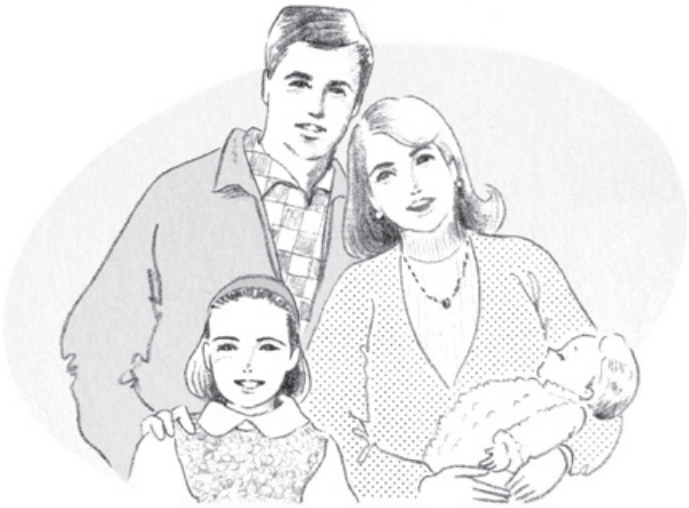


形式の呼び

FFR-5916G

製品名

FFR-5916G
FFR-5916G-P



●このたびはサンポットガス FF 暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよく読んで、機器を家族全員で正しくご使用ください。なお、この取扱説明書·保証書は、設置工事説明書および住所一覧と共に必ず保管してください。

機器の設置工事はお買い求めの販売店にご依頼ください。
(機器を移設させる場合も同じです。)

●取扱説明書の巻末には保証書が付いています。
保証書はよりよい製品づくりやアフターサービス向上に役立たせていただきますので、お手数ですが所定事項のご記入をご確認のうえ、必ず保証書（販売店様控）をお買い上げの販売店にお渡しください。

ご使用前に 2~15
準備 16~17
使用方法 18~28
点検・その他 29~42
保証書 巻末

サンポット株式会社

もくじ

ご使用前に

特に注意していただきたいこと…… 2〜11
使用する場所……12
機能と特徴……13
各部のなまえ……14〜15
●外観図……14
●表示部・操作部……15

準備

使用前の準備……16〜17
●点火前の準備と確認……16〜17

使用方法

使用方法……18〜26
●点火……18
●室温調節……19
●固定運転……20
●消火……21
●時刻合せ……22
●タイマー運転……23〜24
●eco(エコ)運転……25〜26
●チャイルドロック……27
安全装置……28

点検・その他

日常の点検・手入れ……29〜30
定期点検……31
故障・異常の見分け方と処置方法……32〜34
保管……35
仕様……36
アフターサービス……37
据付け……38〜40
試運転……41〜42

保証書

保証書…… 巻末

特に注意していただきたいこと

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書には本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項が表示されています。
表示内容をよくご理解いただき、本文をお読みください。

●ここに示した事項は ⚠危険、⚠警告、⚠注意に区分しています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●本文中のマークは次のような意味があります。

一般的な禁止

分解禁止

火気禁止

ぬれ手禁止

必ず行う

プラグを抜く

一般的な
危険・警告・注意

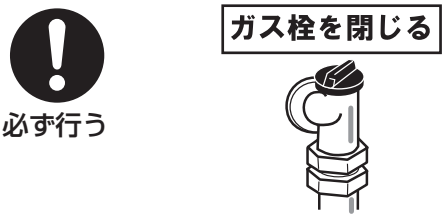
特に注意していただきたいこと つづき

⚠危険（DANGER）

ガス漏れ時使用厳禁

●ガス漏れに気付いたときはガス事業者(供給業者)の処置が終わるまでの間、絶対に火を着けたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓とメーターのガス栓を閉じる。

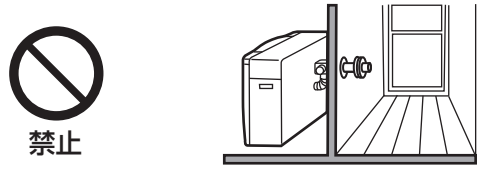


②窓や戸を開けガスを外へ出す。

③外に出て最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡をしてください。

室内給排気厳禁

●室内に排気すると燃焼排ガスが室内に充満して異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になり危険です。
必ず屋外に排気してください。

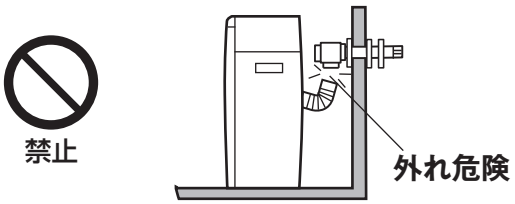


安全のために必ずお守りください

⚠警告（WARNING）

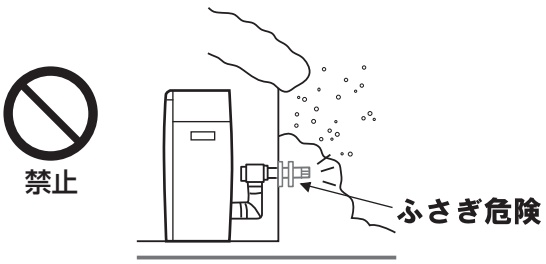
給排気筒(管･ホース)外れ危険

●給排気筒(管・ホース)が外れたまま使用しないでください。
外れていると運転中に燃焼排ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。



給排気筒トップ閉そく危険

●給排気筒トップの周りがふさがれた状態で使用しないでください。
雪でふさがれているときは、除雪してください。
ふさがれていると運転中に燃焼排ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因になります。

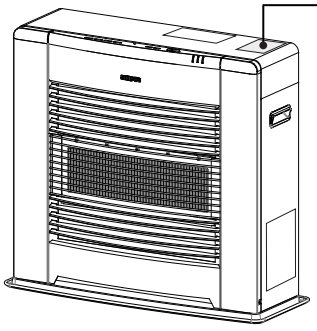


指定のガス種(ガスグループ)および電源(電圧･周波数)以外使用厳禁

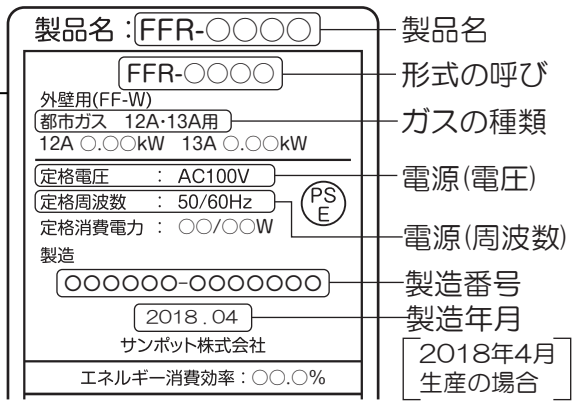
●機器の銘板に表示しているガス種(ガスグループ)および電源以外を使用しますと、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、異常点火や機器の故障の原因になります。
●転居された場合にもガス種(ガスグループ)および電源が一致していることを必ず確認してください。
●わからない場合はお買い求めの販売店、または最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡してください。

必ず行う

この機器の銘板は本体上面に貼ってあります



例：銘板（12A・13A用）



機器の設置工事・移設工事はお買い求めの販売店に依頼してください

●機器の設置工事や移設工事は必ずお買い求めの販売店または最寄りのガス事業者（供給業者）に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
ご自分で設置・移設工事をされ不備があると火災、一酸化炭素中毒、ガス漏れの原因になります。

必ず行う

特に注意していただきたいこと つづき

⚠警告 （WARNING）

ガス接続は専門業者に依頼してください (ガス管は規定の強化ガスホースか金属管接続が必要です)

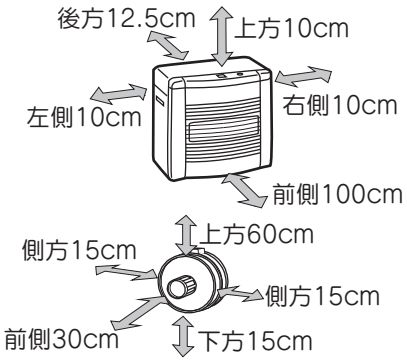
●この機器はねじ接続です。ガス管接続工事には専門の資格、技術が必要です。必ずお買い求めの販売店または最寄りのガス事業者（供給業者）に依頼してください。正しく接続しないとガス漏れ、一酸化炭素中毒、火災の原因になります。

必ず行う

離隔距離の厳守

●機器の上や周囲に燃えやすいものを置くと火災の原因になります。
●給排気筒トップ周辺の障害物(壁など)と十分な離隔距離をとってください。
不完全燃焼の原因になります。
●可燃物との離隔距離は、標準据付け例(38～39ページ)で確認してください。

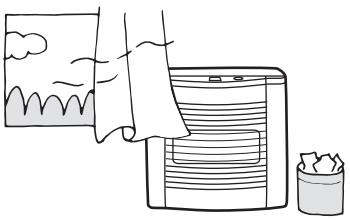
必ず行う



カーテン･可燃物近接禁止

●カーテンや燃えやすいものを近づけないでください。
機器の過熱や火災の原因になります。

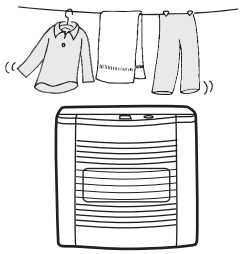
禁止



衣類の乾燥など暖房以外での使用禁止

●衣類の乾燥など暖房以外の用途に使用しないでください。
火災の原因になります。

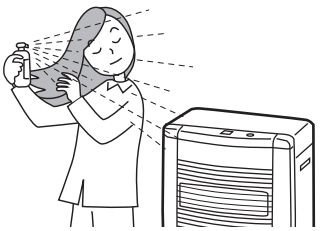
禁止



引火のおそれのあるもの使用禁止

●スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用している際は機器を使用しないでください。
引火、爆発の原因になります。

禁止



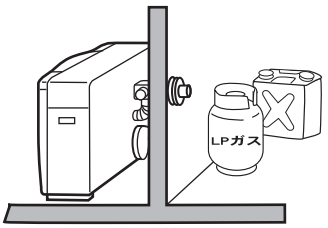
安全のために必ずお守りください

⚠警告（WARNING）

給排気筒付近の可燃物近接禁止

●給排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのあるものを置かないでください。
火災のおそれがあります。

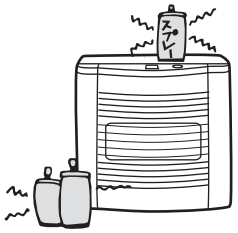
禁止



スプレー缶厳禁

●スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを、機器の上や前に（周囲に）放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。

禁止



温風を長時間直接体にあてない

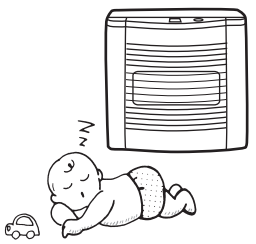
●体調悪化や健康障害の原因になります。

禁止

低温やけどに注意

●温風の直接あたる場所で就寝しないでください。
低温風でも連続的にあたると低温やけどの原因になります。
特に乳幼児・お年寄り・お体の不自由な方などがお使いのときは、周りの方が注意してください。

禁止



温風吹出し口・空気吸込口をふさがない

●衣類・紙などで温風吹出し口や機器背面部の空気吸込口(フィルタ部)をふさがないでください。
火災の原因になります。

禁止

運転したままの外出・就寝は絶対しない

●運転したまま外出しますと、予想しない事故の原因になります。
●就寝されるときは、タイマー運転以外は使用しないでください。

禁止

特に注意していただきたいこと つづき

⚠警告（WARNING）

異常時使用禁止

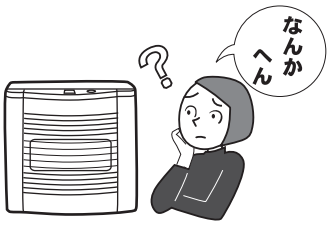
●点火しない場合、使用中に異常な燃焼・臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、または使用途中で消火する場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉めてください。
異常のまま使用を続けますと、爆発や火災の原因になります。

●異常を感じた場合は「故障・異常の見分け方と処置方法」(32 ～ 34 ページ) を参照してください。

●上記の処置をしてもなおらない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

禁止

必ず行う



地震・火災など緊急時使用禁止

●地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓を閉めてください。

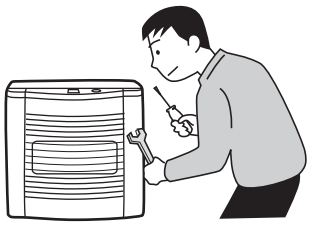
禁止

必ず行う

改造・分解禁止

●修理・改造には高度な専門知識が必要です。
お客様ご自身で、工具を使用しての分解や修理・改造は、絶対に行わないでください。
一酸化炭素中毒や火災、機器の故障の原因になります。

分解禁止



電源コードを直接引っ張らない

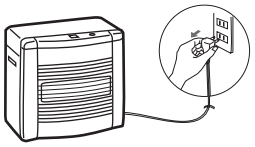
●電源プラグを抜くときに電源コードを直接引っ張らないでください。
断線などで発熱・発火の原因になります。

禁止

電源プラグによる消火禁止

●電源プラグを抜いて運転を停止しますと、故障や予想しない事故の原因になります。

禁止

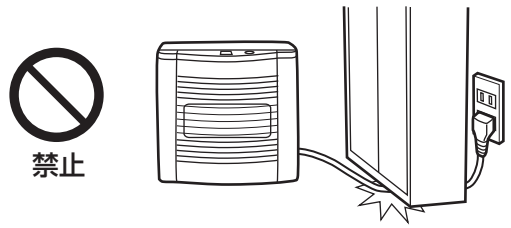


安全のために必ずお守りください

⚠警告（WARNING）

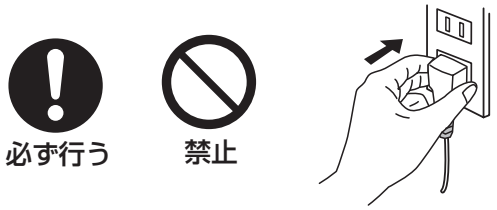
電源コードへのもの載せや切断禁止

●電源コードに無理な力を加えたり、重いものを載せたり、引っ張ったりしないでください。
火災や感電の原因になります。
●電源コードを切断して延長しないでください。
火災や感電の原因になります。



電源プラグは確実に差し込む

●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

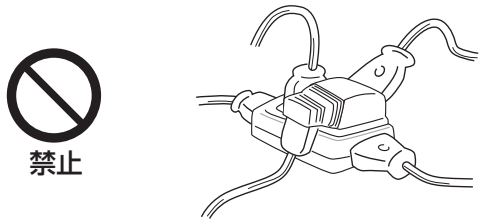


ぬれた手で抜き差しをしない

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

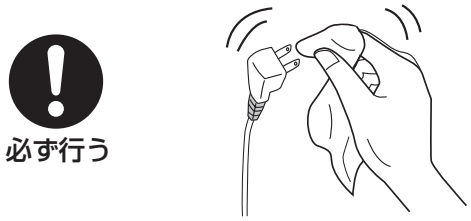
許容電力以上の使用禁止

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外では使用しないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源プラグのお手入れをする

●定期的に電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



給排気部の点検をする

●いたずら等により給排気筒トップがつぶれたり、ふさがれていると燃焼排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因になります。また、外壁の塗装や増改築、修繕時など養生シートで給排気筒トップがおおわれた場合も同様です。

特に注意していただきたいこと つづき

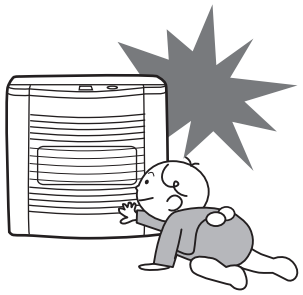
⚠注意（CAUTION）

高温部に注意

●燃焼中や消火直後は、温風吹出し口やエアーフィルタ部、排気管などは高温になっておりますので、操作部以外には手などを触れないでください。

●燃焼中や消火直後は、給排気筒トップは高温になっておりますので手などを触れないでください。やけどのおそれがあります。
特にお子様が触れるおそれがあるときは保護ガード（関連部材）をご使用ください。

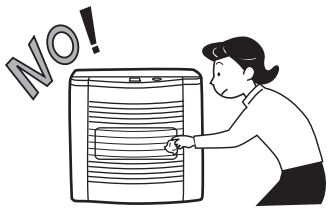
禁止



指や異物を入れない

●温風吹出し口や空気吸込口に指や異物を入れないでください。
内部で回っている対流ファンによるケガや火災のおそれがあります。

禁止

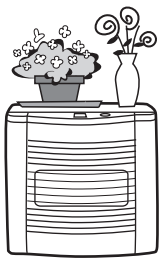


腰をかけたりものを載せない

●機器の上にのったり、腰をかけたりしないでください。
機器の故障ややけどのおそれがあります。

●機器の上に花びんや水を入れたものを置かないでください。
水がかかると漏電や故障のおそれがあります。

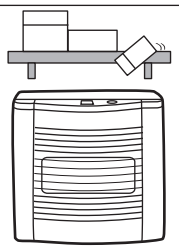
禁止



棚の下などで使用しない

●棚の下など落下物の危険がある所では使用しないでください。
機器の破損や落下物によっては火災の原因になります。

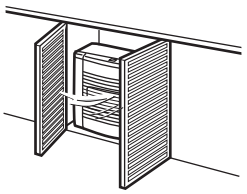
禁止



温風吹出し口の前にギャラリ（格子）を取り付けない

●火災の原因となります。

禁止



小さなお子様がいたずらしないように注意してください

●予想しない事故につながるおそれがあります。

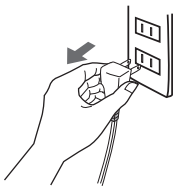
禁止

安全のために必ずお守りください

⚠注意（CAUTION）

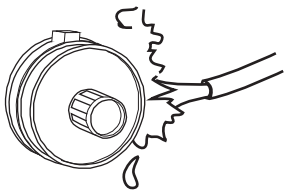
長期間使用しないときは電源プラグを抜く

●長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



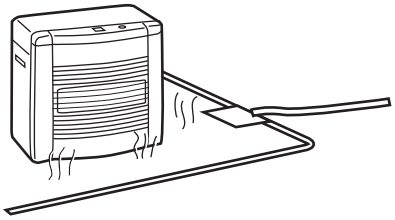
給排気筒トップにホースなどで水をかけない

●機器内に水が入ると感電・故障の原因になります。



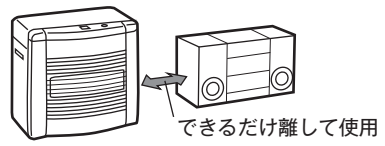
温水マットなどの上に設置しない

●温水マットや電気カーペットの上に設置しないでください。機器の重みで温水マットや電気カーペットが故障する原因になります。
また、温水マットや電気カーペットの熱で機器が正しく制御しないことがあります。



ラジオなどから離す

●ラジオ・ステレオなどを近くで使用する場合は、雑音が入る事があるので、離して使用してください。



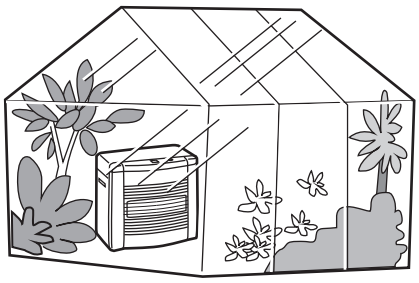
エアーフィルタを外しての運転禁止

●エアーフィルタを外して運転しないでください。
機器内部にほこりが詰まり故障の原因になります。

特殊な場所での使用禁止

●機器は家庭の居室の暖房用につくられたものです。クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所で使用しないでください。
化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

●乾燥室・温室・飼育室などでは絶対に使用しないでください。
植物が枯れたり、動物が死亡する場合があります。

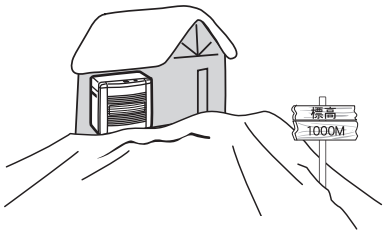


特に注意していただきたいこと つづき

⚠注意（CAUTION）

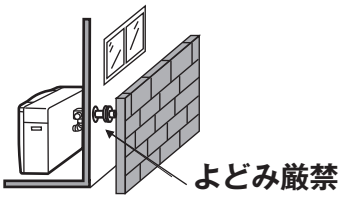
高地注意

●標高1000m未満でご使用ください。
標高1000～1500mで使用する場合は調整が必要です。
お買い求めの販売店にご相談ください。
そのまま使用しますと、空気不足になり、異常燃焼の原因になります。



燃焼排ガスがよどむ場所に設置しない

●燃焼排ガスが自家、隣家に入りやすい場所やよどむ場所には設置しないでください。
不完全燃焼の原因になります。



機器を廃棄する場合

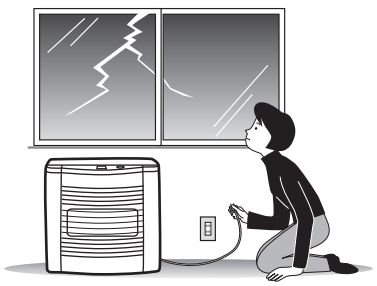
●機器を取り換えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。

お願い（NOTICE）

●この製品は家庭用です。
業務用のような使い方をすると機器の寿命が著しく短くなります。

●使用時は点火、消火を確かめてください。

●雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品が損傷する場合があります。
●使用中に電源プラグを抜きますと機器が過熱して故障の原因になる場合がありますので、雷が近づく前に運転を停止して、対流ファンが止まってから抜いてください。



●停電したときや、使用中に誤って電源プラグを抜いて機器が停止したときは、エアーフィルタ部や機器の上面などが高温になっておりますので、手を触れないでください。

●ガラスには水をかけたり、衝撃をあたえたりしないでください。
ガラスが割れて危険です。

●機器前面付近は、ふく射熱が強いので熱に弱いものを置いたり、敷いたりしないでください。
変色や変形することがあります。

使用する場所

機器を安全に使用するためには、場所の選定が大切です。
場所の選定は「据付場所の選定および標準据付け例」の項をお読みください。
(38～39ページ参照)

■効果的に使用するため

●冷たい外気に接する窓ぎわや壁側に据え付けると、冷気が暖められて対流しますので効果的です。
●機器の前方に障害物があると、部屋の温度にむらができる原因になります。

次の場所では使用しないでください。火災や予想しない事故の原因になります。

●水平でない場所、不安定な場所
●不安定なものを載せた棚などの下
●可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
●付近に燃えやすいものがある場所
●階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
●温室、飼育室など人のいない場所
●水のかかりやすい場所
●愛がん動物や植物などに燃焼排ガスが直接あたる場所

機能と特徴

■FFタイプ

燃焼に必要な空気を室外から取り入れ、燃焼後の燃焼排ガスを室外へ出す方式(FF式)ですからクリーンな暖房です。

■簡単操作

点火・消火は、運転スイッチを押すだけのワンタッチ操作です。
(18～21ページ参照)

■固定運転機能

設定室温を「Lo」または「Hi」にすると、火力を自動的に調節せずに最小または最大火力で燃焼し続けます。
(20ページ参照)

■eco（エコ）運転

eco（エコ）運転を設定すると、現在室温が設定室温と同じ、またはそれ以上の状態が1分間続くと自動的に消火し、現在室温が設定室温より2℃低くなると自動的に点火します。お部屋の暖めすぎをおさえます。
(25ページ参照)

■eco（エコ）運転の温度条件調節

eco（エコ）運転時の消火・点火の温度条件を調節することができます。
(26ページ参照)

■フィルタサイン機能

エアーフィルタのほこり詰まりをお知らせします。サインが表示されたら、エアーフィルタの清掃を行ってください。
(34ページ参照)

■設定室温や時刻を記憶します

停電しても記憶しています。(約3日間)

■ふく射暖房

ふく射により効果的に暖房感が得られます。また、火力が小さくなるにつれて温風量も少なくしていきますので、温風の不快感を感じることなく快適な暖房感が得られます。

■室温を適切にコントロール

お好みの室温に設定すると火力を自動的に調節してお部屋を暖めます。
※お部屋の温度が設定室温に達しても消火しません。
(19ページ参照)

■タイマー運転機能

希望の時刻に運転を開始します。24時間デジタル表示で設定できます。
(23～24ページ参照)

■チャイルドロック機能

小さなお子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転スイッチを押しても点火しないように、操作部をロックすることができます。
(27ページ参照)

■音声お知らせ機能

運転の入／切や各種設定の変更などをした場合に「音声」でお知らせします。
(26ページ参照)

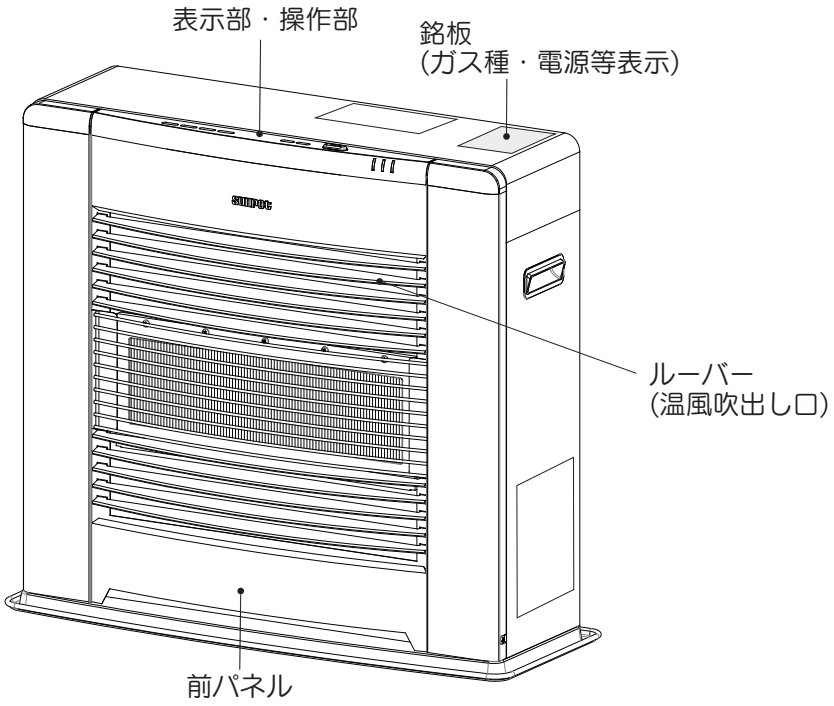
■音量調整

設定により音声と「ピッ」音の音量調節、音声を消すことができます。
(26ページ参照)

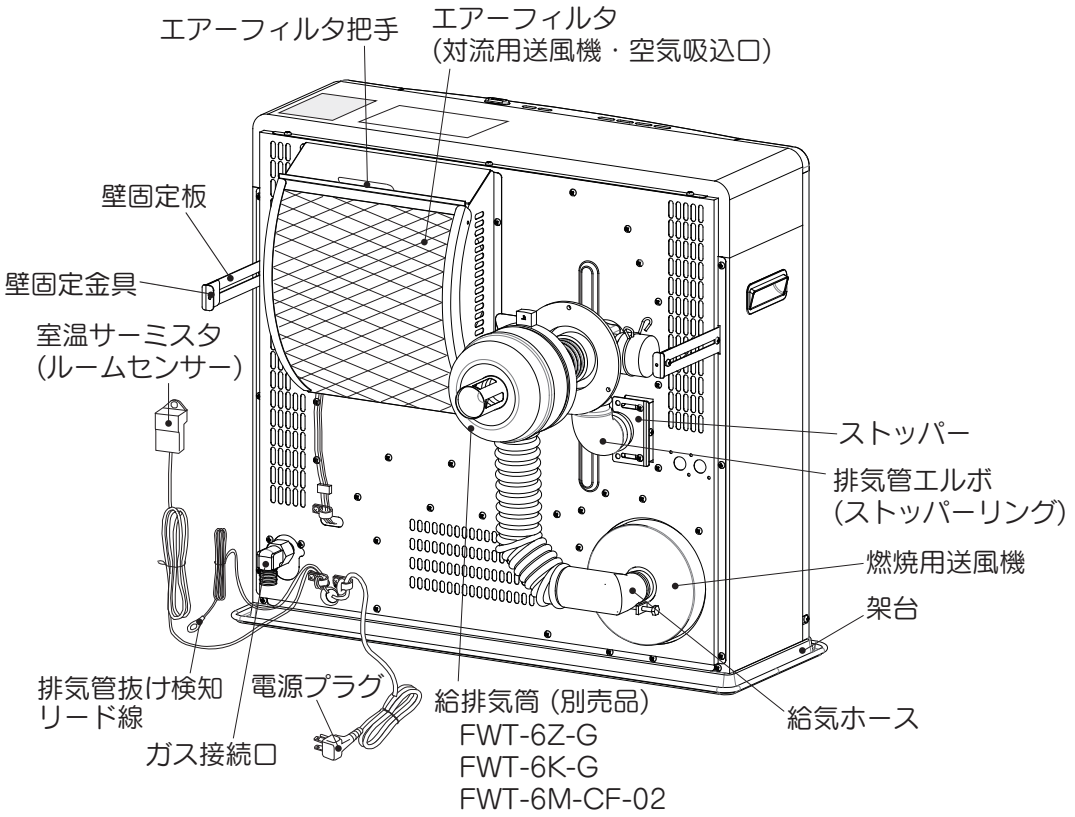
各部のなまえ

■外観図

【正面】

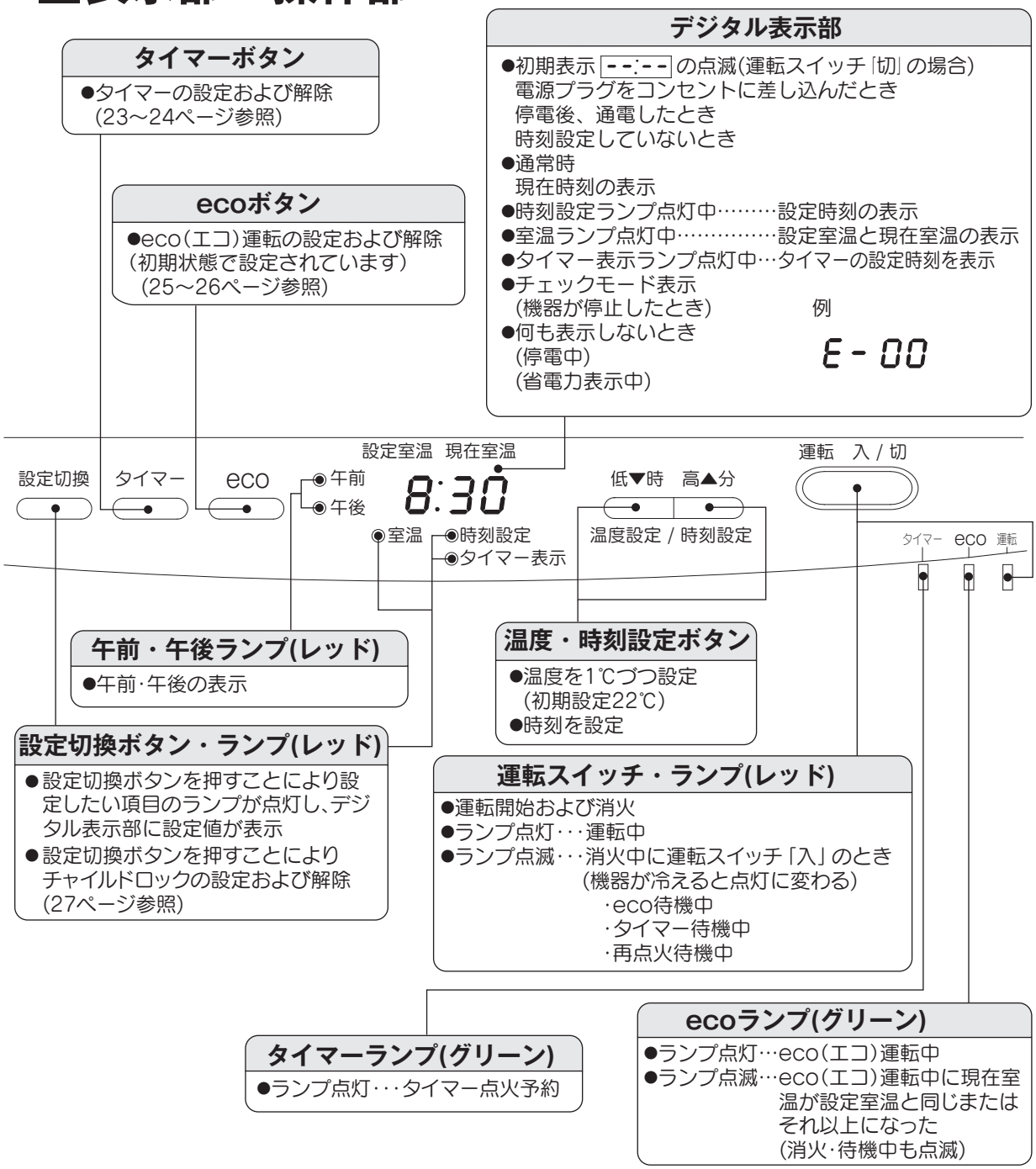


【背面】



各部のなまえ つづき

■表示部・操作部



使用前の準備

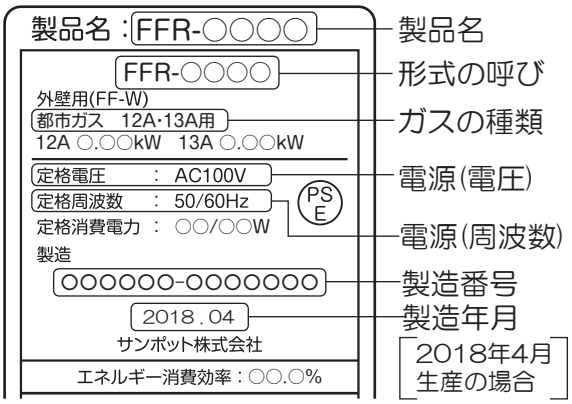
お使いになられるときは必ず2～11ページの「特に注意していただきたいこと」をお読みのうえ、安全な状態でご使用ください。

■点火前の準備と確認

1 ガス種・電源の確認

●ガス種・電源(電圧・周波数)は機器上面の銘板に表示してあります。

例：銘板（12A・13A用）



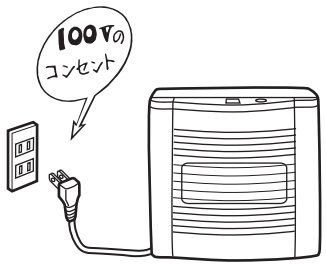
⚠警告

●機器に表示してあるガスと使用するガスの種類が合っているか確認してください。

●電源(電圧・周波数)がAC100V(50/60Hz)であることを確認してください。

2 電源コードおよび電源プラグの確認

●電源プラグをコンセントに差し込み接続してください。

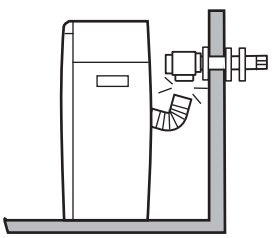


⚠注意

●電源コードの引き回し部分が放熱(排気管の放熱など)を受けない所にあるか確認してください。

3 給気ホース(給気管)・排気管の接続の確認

●給気ホース(給気管)・排気管が正しく接続されているか確認してください。



⚠警告

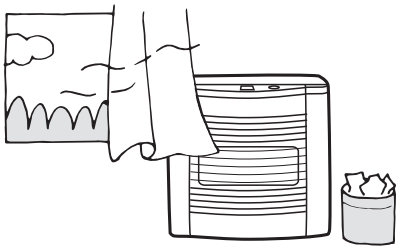
●外れていると運転中に燃焼排ガスが室内に漏れて、大変危険です。

使用前の準備 つづき

■点火前の準備と確認

4 機器の周囲の確認

●機器の周辺および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物がないか確認してください。



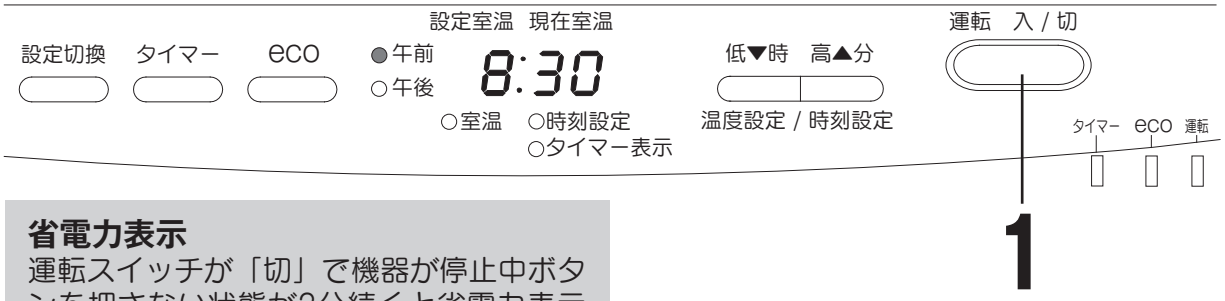
⚠警告

●スプレー缶やガソリンなど引火物や可燃物があると火災や予想しない事故が発生するおそれがあります。

5 ガス栓を全開にする

●機器と接続されているガス栓を全開にしてください。

使用方法



省電力表示
運転スイッチが「切」で機器が停止中ボタンを押さない状態が2分続くと省電力表示になり表示部のランプが全て消灯します。この状態から操作する場合はいずれかのボタンを一度押し、表示部を点灯させたのち、各操作を行ってください。
（省電力表示機能の解除方法は22ページ参照）

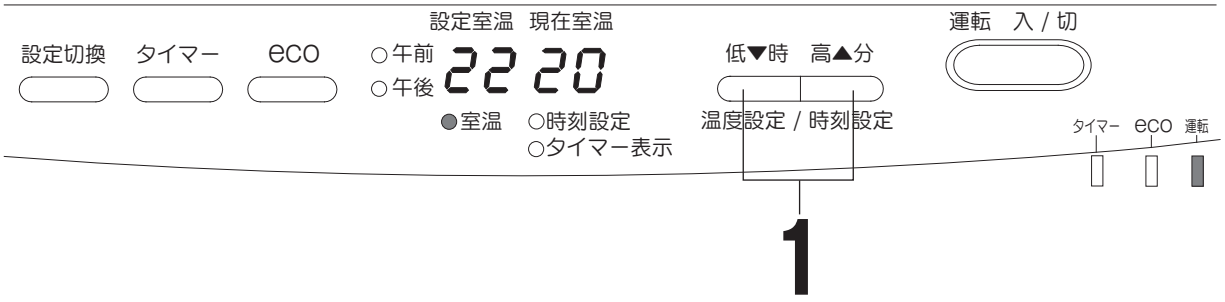
■点火

1 運転スイッチを押し「入」にする

- ●運転ランプが赤色に点灯し、デジタル表示部に設定室温・現在室温が表示され、「点火します」と音声でお知らせします。約15秒後にスパーク音がし、点火します。
- ●点火してから約30秒後に温風が出ます。
- ●初期状態では設定室温が「22」℃でeco（エコ）運転が設定されています。eco（エコ）運転を使用しない場合、ecoボタンを押してeco（エコ）運転を解除してください。
  （eco（エコ）運転については25～26ページ参照）
- ●消火後、対流ファンが回っているときに再点火する場合、約1分間運転ランプが点滅し、その後運転ランプが点灯し、再点火します。

- ●初めてご使用になるときや、しばらく使わなかったときには配管内に空気があるため１回の操作で点火しない場合があります。
- ●スパーク音がして1回で点火しなかった場合は、その後2回点火動作を行いますが、それでも点火しないときには、デジタル表示部に E-11 のチェックモードを表示して自動的に運転を停止します。そのようなときは、運転スイッチをいったん「切」にし、機器が停止したのを確認のうえ、ガス栓が開いているのを確認し運転スイッチを「入」にしてください。（E-11 処置方法については28ページ参照）
- ●運転スイッチを押して「入」にし、E-90 のチェックモードが表示された場合は、排気管の接続が不十分であったり、排気管抜け検知リード線が正しく接続されていないためです。そのようなときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

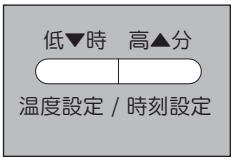
使用方法 つづき



■室温調節

●設定した室温になるように、火力を自動調節します。

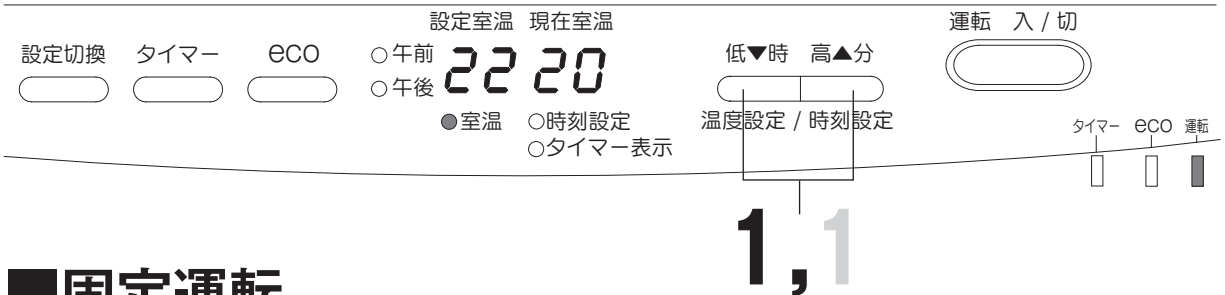
1 温度設定ボタンの「高」「低」ボタンを押し、お好みの室温を設定する



※室温ランプが点灯していないと室温設定ができません。設定切換ボタンを押して室温ランプを点灯させてください。

- ●温度設定ボタンの「高」または「低」ボタンを押すと1℃づつ変わり、押し続けると連続して変わります。
- ●室温の設定範囲は「12～30」℃です。設定を変更すると「室温の設定を＊＊℃に変更しました」と音声でお知らせします。（＊＊は設定値）
- ●現在室温は「5～35」℃の範囲で表示されます。
  ただし、現在室温が5℃未満で「Lo」、36℃以上で「Hi」が表示されます。
- ●設定室温の数字は室温のめやすです。設置条件(部屋の構造・設置場所・室外温度など)によっては必ずしも室温と一致しません。
- ●自動的に消火は行わないため、比較的暖かい時期や設置条件によっては最小燃焼になってもお部屋の温度が上がっていくことがあります。この場合はeco（エコ）運転をご使用ください。
  (eco（エコ）運転については25～26ページ参照)
- ●設定室温の初期設定値は「22」℃に設定されています。
  設定室温は変更した設定室温で常に記憶されます。

●室温サーミスタ（ルームセンサー）は、部屋の温度を代表できる位置に取り付けてください。
直接機器に取り付けたり、機器の熱を受けやすい場所または直接日光や冷気があたるような位置に取り付けると室温調節が正しく働きません。



1,1

■固定運転

●火力を自動的に調節せずに、最小または最大火力で燃焼し続けます。

1 温度設定ボタンを押し、「Lo」または「Hi」に設定する

※室温ランプが点灯していないと室温設定ができません。設定切換ボタンを押して室温ランプを点灯させてください。

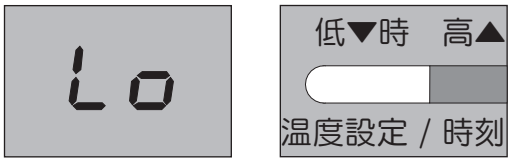
[最小固定運転]の場合

●温度設定ボタンの「低」ボタンを押すと、「12」℃の後に「Lo」が表示され「最小固定運転します」と音声でお知らせし最小固定運転に入ります。

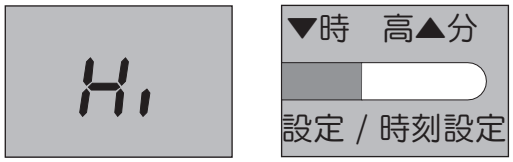
[最大固定運転]の場合

●温度設定ボタンの「高」ボタンを押すと、「30」℃の後に「Hi」が表示され「最大固定運転します」と音声でお知らせし最大固定運転に入ります。

[最小固定運転]の場合



[最大固定運転]の場合



■固定運転の解除

1 温度設定ボタンを押し、お好みの設定をする

※室温ランプが点灯していないと室温設定ができません。設定切換ボタンを押して室温ランプを点灯させてください。

[最小固定運転]の場合

●温度設定ボタンの「高」ボタンを押し、お好みの温度に設定してください。

[最大固定運転]の場合

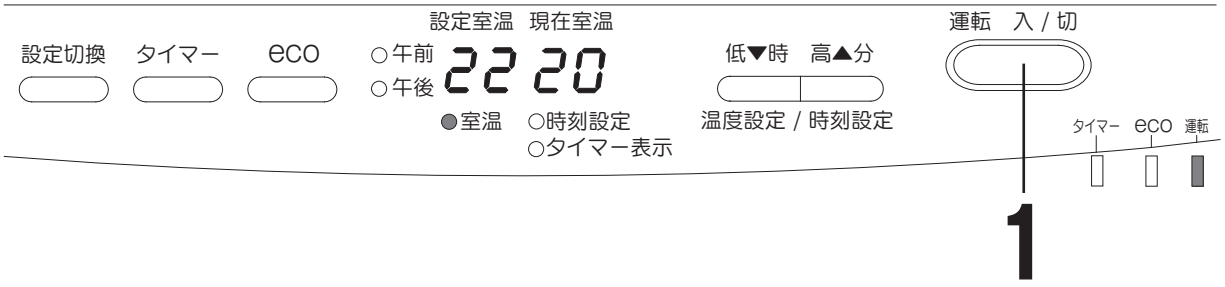
●温度設定ボタンの「低」ボタンを押し、お好みの温度に設定してください。

[最小固定運転]の場合

[最大固定運転]の場合

●固定運転にすると、eco（エコ）運転はできません。設定されていたeco（エコ）運転は解除されます。（eco（エコ）運転については25～26ページ参照）

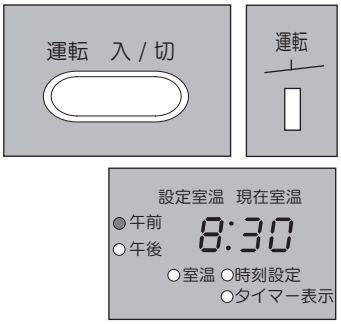
使用方法 つづき



■消火

1 運転スイッチを再度押し「切」にする

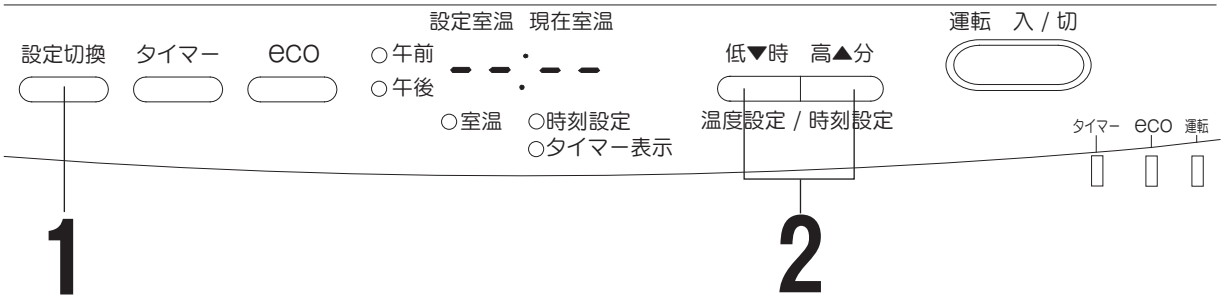
●運転ランプが消灯し「消火します」と音声でお知らせします。
●表示部が現在時刻の表示になります。
表示部が --:-- になっている場合には、時刻合せを行ってください。
(22ページ参照)



2 消火を確認する

●対流ファンは機器が冷えるまでの数分間回り続けます。

●長期間留守にするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
●電源プラグは対流ファンが停止してから抜いてください。
●運転中、電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。
機器が過熱するなど、故障の原因になります。
●お出かけになるときは、必ず運転スイッチを「切」にして消火してください。

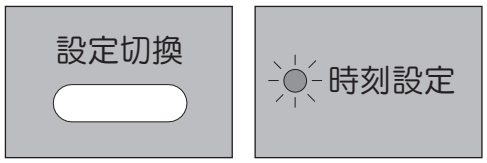


■時刻合せ

●初めて使用するときや停電後、表示が --:-- になっている場合には、時刻合せを行ってください。
●停止中でも運転中でも合せることができます。

1 設定切換ボタンを押し、時刻設定ランプを点灯させる

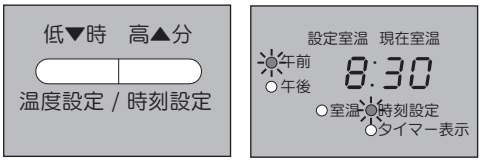
●「時刻合せができます」と音声でお知らせします。



2 時刻設定ボタンの「時」「分」ボタンを押し、現在時刻を合せる

(例)現在時刻が午前8時30分のときは、「時」ボタンを押して午前8：00に合せます。
次に「分」ボタンを押して午前8：30に合せます。

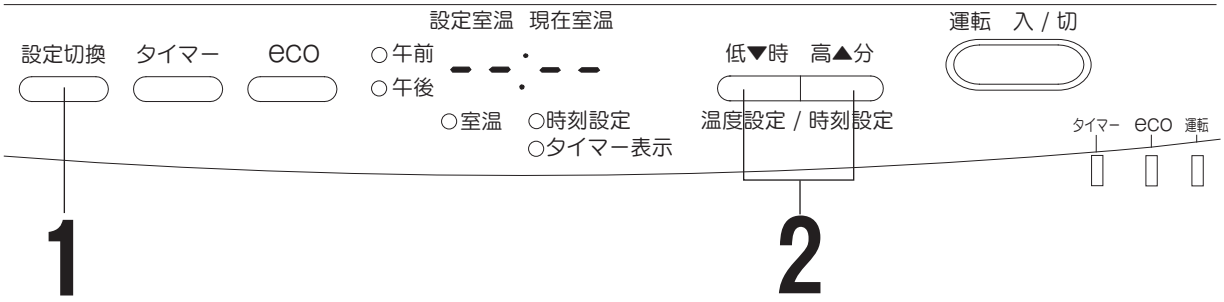
●ボタンを押し続けると連続して変わります。



省電力表示機能の解除方法

運転スイッチが「切」のとき、タイマーボタンを10秒以上押してください。表示部に『Ld oF』と表示するので、温度設定/時刻設定ボタンの「高▲分」を押してください。表示が『Ld on』に切換り、省電力表示機能を解除します。「低▼時」を押すと『Ld oF』と表示が切換り、省電力表示機能を設定します。設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。
(15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。)

使用方法 つづき

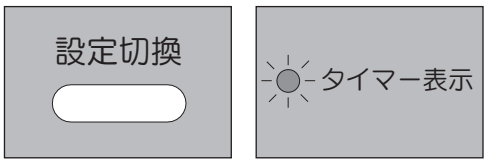


■タイマー運転 タイマー時刻合せ

●寒い朝などおめざめ前にお好みの時刻に運転を開始します。
●停止中でも運転中でも合せることができます。

1 設定切換ボタンを押し、タイマー表示ランプを点灯させる

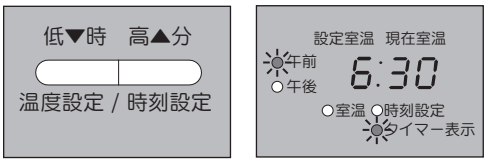
●「タイマー時刻合せができます」と音声でお知らせします。

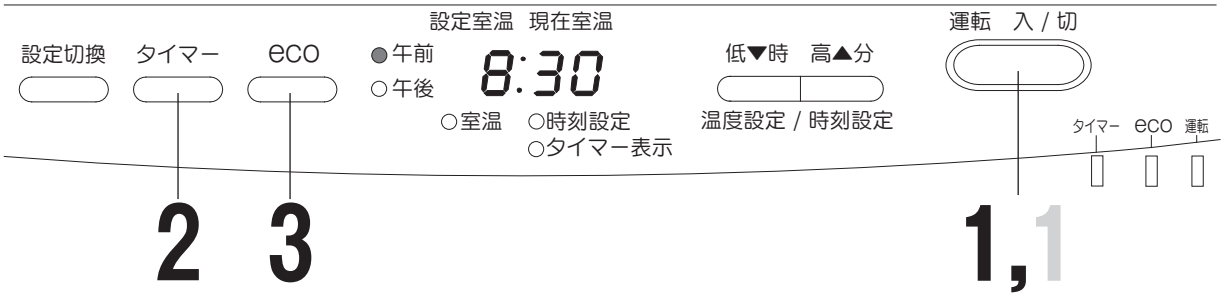


2 時刻設定ボタンの「時」「分」ボタンを押し、希望の時刻を合せる

(例)午前6時30分に点火させたいときは、「時」ボタンを押して午前6：00に合せます。
次に「分」ボタンを押して午前6：30に合せます。

●ボタンを押し続けると連続して変わります。
●分は5分刻みで動きます。
●タイマー時刻合せは、一度設定すると記憶され、次から設定する必要はありません。

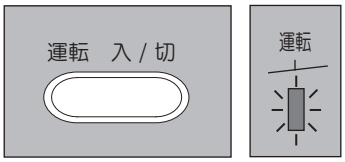




■タイマー運転 タイマー運転の設定

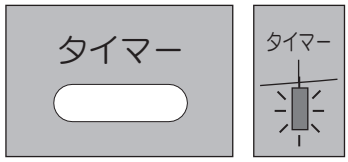
1 運転スイッチを押し「入」にする

●運転ランプが点灯し「点火します」と音声でお知らせします。
●運転中に設定する場合、運転スイッチを「入」にする必要はありません。



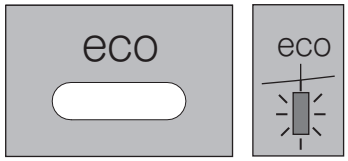
2 タイマーボタンを押す

●タイマーランプが点灯し「タイマーをセットしました」と音声でお知らせします。
●約5秒間デジタル表示部にタイマー時刻を表示します。
●タイマー運転を設定すると消火します。



3 お好みの運転を予約する

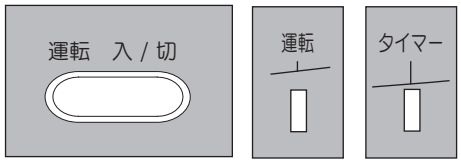
●eco（エコ）運転の予約ができます。
●ecoランプは現在室温と設定室温によって点灯または点滅します。



■タイマー運転の解除

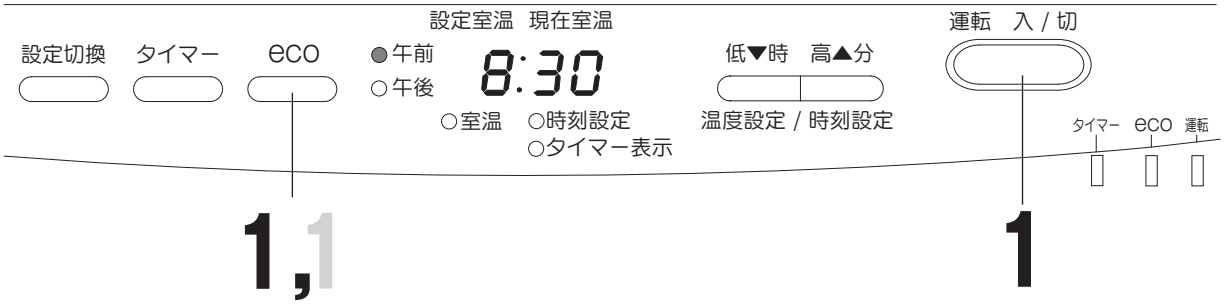
1 運転スイッチを再度押し「切」にする

●タイマーランプと運転ランプが消灯し、「タイマーを解除しました、消火します」と音声でお知らせします。
●タイマー時刻前に点火する場合は、再度タイマーボタンを押してください。タイマーランプが消灯し、「タイマーを解除しました、点火します」と音声でお知らせします。



●時刻合せをしていないとタイマー運転はできません。先に時刻合せを行ってください。(22 ページ参照)
●タイマー点火する場合は、周囲に可燃物があったり、その他危険な状態のないことを確認してください。
●お出かけのときはタイマー運転を設定しないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。
●停電したときや運転中にチェックモードが表示されたときは、タイマー運転は解除されます。

使用方法 つづき



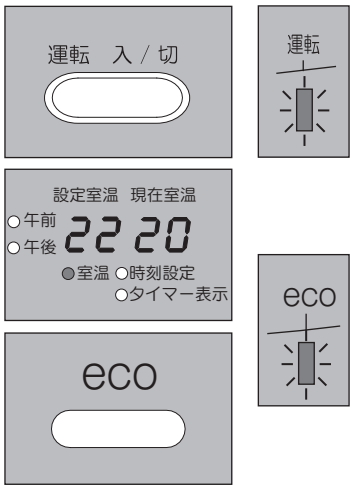
■eco（エコ）運転

初期状態は設定室温『22』℃でeco（エコ）運転が設定されています。

●設定室温に合せて自動的に燃焼・消火を繰り返し、現在室温を調節してお部屋の暖めすぎをおさえます。
●設置条件(部屋の構造・設置場所・室外温度が比較的暖かい時期など)で最小燃焼になってもお部屋の温度が上がっていく場合にご使用ください。

1 運転スイッチを押し「入」にする

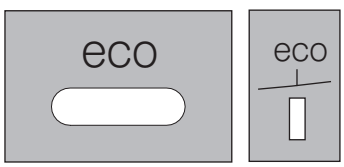
●運転ランプが赤色、eco ランプが緑色に点灯し、デジタル表示部に設定室温･現在室温が表示され点火します。
●eco（エコ）運転は設定した状態で記憶されます。
eco（エコ）運転が解除されている場合は、eco ボタンを押すと eco ランプが点灯し､「eco（エコ）運転をセットしました」と音声でお知らせし、eco（エコ）運転が設定されます。
●eco（エコ）運転中、現在室温が設定室温と同じ、またはそれ以上のときは、eco ランプが点滅となり､この状態が 1 分間続くと消火します。消火後対流ファンが回っている間、運転ランプが点滅し､対流ファンが止まると運転ランプが点灯します。
●再点火は現在室温が設定室温より 2℃低くなったとき、eco ランプが点滅から点灯に変わり点火します。
●消火・点火条件を変更することができます。
（26 ページ参照）



■eco（エコ）運転の解除

1 ecoボタンを押す

●ecoランプが消灯し、「eco（エコ）運転を解除しました」と音声でお知らせします。



eco（エコ）運転時の消火・点火温度条件の変更方法

eco運転時の消火・点火の温度条件を変更することができます。
以下の手順で設定してください。

①運転スイッチが「切」の状態でecoボタンを３秒以上長押しすると、
「eco（エコ）運転の設定を変更できます」と音声でお知らせします。

表示例

②表示部が『Eco*』(＊は設定値)へ切換ります。
③『Eco*』の状態から温度設定/時刻設定ボタンの「低▼時」
「高▲分」を押すごとに、
「0」⇄「1」⇄「2」
と切換ります。
※出荷時は「0」に設定されています。
④設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押し、
通常の表示に戻せば設定完了です。
（15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。）

＊設定値	「0」(※)	「1」	「2」
消火温度 (設定室温に対して)	±0℃	+1℃	+2℃
点火温度 (設定室温に対して)	−2℃	−1℃	±0℃

音量調節と音声機能について

設定により、音量調節、音声を消すことができます。
各設定は、運転スイッチ「切」の状態で行ってください。

音量調節方法
①温度設定/時刻設定ボタンの「低▼時」を3秒以上長押しすると、表示部に『Vo0*』
（＊は設定値）と表示し、「音量を設定できます」と音声でお知らせします。
②音量は6段階に変更でき、「0」にすると受付音および音声が消えます。
③温度設定/時刻設定ボタンの「低▼時」「高▲分」押すごとに

音量
小 ◀――――――――――――▶ 大
「0」⇄「1」⇄「2」⇄「3」⇄「4」⇄「5」

と切換ります。
※出荷時は「3」に設定されています。
④設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。
（15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。）

音声機能のOFF

①温度設定/時刻設定ボタンの「高▲分」を3秒以上長押しすると、表示部に『V on』
と表示し、「音声を設定できます」と音声でお知らせします。
②温度設定/時刻設定ボタンの「低▼時」押すと『VoFF』を表示して音声が出なくなり、
受付音などブザーだけ出るようになります。温度設定/時刻設定ボタンの「高▲分」を
押すと『V on』を表示して音声が出るようになります。
③設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。
（15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。）

使用方法 つづき

1,1

チャイルドロックについて
小さなお子様などによるいたずら操作防止や、誤って運転スイッチを押しても点火しないように操作部をロックすることができます。

■チャイルドロック

●小さなお子様などによるいたずら操作を防止します。

1 設定切換ボタンを５秒以上押す

●受付音が「ピー」と鳴り、表示部に[ch:Ld]が1秒間表示され、「チャイルドロックしました」と音声でお知らせします。
●運転スイッチを「切」にすること以外の操作ができません。
●設定中、運転スイッチ以外のスイッチを押すと、[ch:Ld]が1秒間表示され、「チャイルドロック中です」と音声でお知らせし、操作を受け付けません。

■チャイルドロックの解除

1 設定切換ボタンを５秒以上押す

●受付音が「ピッ」と鳴り、「チャイルドロックを解除しました」と音声でお知らせします。

●操作音を消音設定している場合は、受付音は鳴りません。（26ページ参照）
●停電したときは、チャイルドロックが解除されます。

安全装置

●異常が生じたとき、自動的に消火する装置です。

安全装置が作動した場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてから下記の処置をしてください。

安全装置のなまえ ●作動の原因	チェックモード	処置の方法
転倒時ガス遮断装置 ●転倒したとき ●強い振動や衝撃を受けたとき ●地震(震度5程度以上)のとき	E-22	機器の周囲や排気管の外れやゆるみ、ガス漏れなどの異常がないことを確認し再点火操作してください。
停電安全装置 ●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき	E-00	通電後、再点火操作してください。
過熱防止装置 ●エアーフィルタにほこりがたまったり、エアーフィルタがカーテン等でおおわれたとき ●温風吹出し口の前方が障害物でおおわれているとき	E-14 E-15	エアーフィルタの掃除や障害物などの原因を取り除いてから再点火操作してください。
立消え安全装置 ●不着火 点火しなかったとき ●途中消火 運転中消火したとき	E-11 E-12	ガス栓が開き足りないか、閉まっていないか確認し、再点火操作してください。再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店にご連絡ください。 長時間連続使用した場合、ガスメーターでガスが止まることがあります。その場合は最寄りのガス事業者（供給業者）にご連絡ください。
給排気トップ閉そく検知機能 ●給排気筒トップの先端がふさがれているとき ●強い風が吹いたとき	E-21	給排気筒トップの先端が、雪やビニール袋などでふさがれていないか点検後、再点火操作してください。
排気管抜け検知装置 ●排気管接続部が外れたとき ●排気管抜け検知リード線が外れたり断線したとき	E-90	修理が必要です。お買い求めの販売店にご連絡ください。
過電流保護装置 ●過電流が流れ、ヒューズが切れたとき	**表示なし**	停止中であれば、省電力表示になっていないか確認してください。 (18ページ参照) それでも表示されない場合は修理が必要です。お買い求めの販売店にご連絡ください。

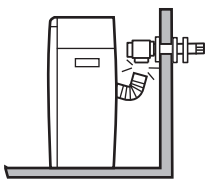
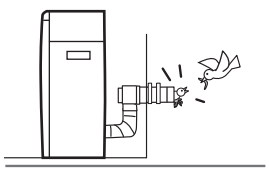
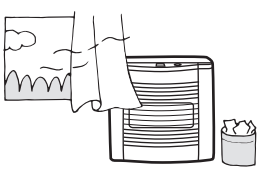
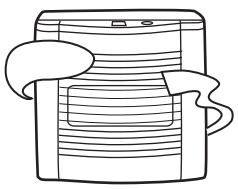
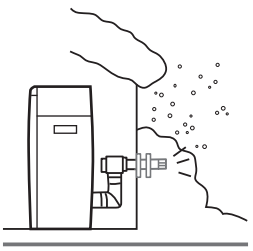
日常の点検・手入れ

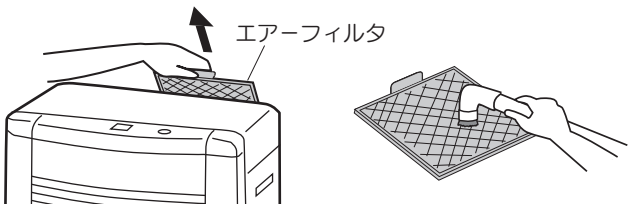
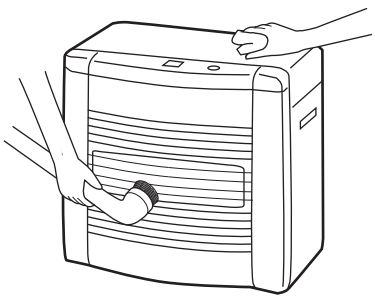
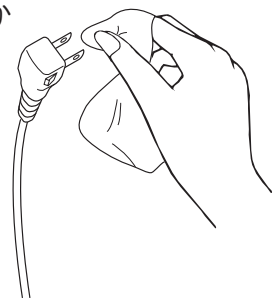
■点検・手入れのときの注意

●安全にお使いいただけるよう点検とお手入れは定期的に行ってください。

必ず運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてから下記の処置をしてください。

■点検・手入れの必要項目、時期、方法

	点検・手入れ項目	方法	
シーズンはじめ	**給気ホース(給気管)排気管**	●給気ホース(給気管)・排気管の接続部が外れていないか点検します。 ●給気ホースが排気管にあたっていないか点検します。	
	給排気筒トップ	●室外の給排気筒トップが鳥の巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。	
使用ごと	**周囲の可燃物・引火物**	●機器の上や周囲・給排気筒トップの周囲に可燃物、引火物がないか点検します。	
	燃焼排ガスの漏れ	●燃焼排ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。燃焼排ガスが漏れていると危険です。	
	給排気筒トップ	●給排気筒トップが雪や氷でふさがれていないか点検します。ふさがれていると異常燃焼することがあり危険です。	

<table>
<tr><th>時期</th><th>点検・手入れ項目</th><th>方　　法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">週に1回以上</td><td>エアーフィルタ</td><td>●機器背面のエアーフィルタは取り外すことができます。エアーフィルタについたほこりを掃除機などで取り除きます。
●汚れがひどいときは台所用中性洗剤で洗浄してください。
●掃除が終わりましたら、エアーフィルタを取り付けてください。
  </td></tr>
<tr><td>機器外観
安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。</td><td>●機器の表面のほこりや汚れは、乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。
●汚れがひどいときは布などに台所用中性洗剤をつけてふきとります。
●シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。
●温風吹出し口のほこりは掃除機などで取り除きます。
  </td></tr>
<tr><td>1シーズンに2～3回</td><td>電源プラグ</td><td>●電源プラグにほこりがついていないか点検します。
  </td></tr>
</table>

定期点検（有料）

●この機器は使用される場所や条件、または使用時間により消耗・劣化する部品がありますので専門のサービス員による定期点検をおすすめします。

環境・使用時間により劣化しやすい部品	バーナー、赤熱筒、点火プラグ、フレームロッド
	各種電装部品、各種Oリング、各種パッキン

■定期点検（有料）の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検をおすすめします。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の定期点検をおすすめします。お買い求めになった販売店にご相談ください。

定期点検の内容

専門のサービス員が機器の性能・機能について正常であるかを診断し、必要に応じて修理作業・簡単な清掃を行います。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検・診断するものです。

お申し込み先

お客様→お買い求めになった販売店

定期点検の費用

定期点検の費用はお客様のご負担になります。
定期点検の結果、部品交換および修理等が必要な場合は、処置内容および費用についてお客様にご相談のうえ、実施するか否かを決定します。

故障・異常の見分け方と処置方法

●故障かな？と思ってもよく調べてみると故障でない場合があります。
次のような場合は故障ではありません。

	現　　象	方　　法
点火時・消火時	初めて使用するときやシーズン始めに、煙やにおいがでる	耐熱塗料やほこりやパッキンが焼けるためです。異常ではありません。
	点火したときや、消火した後に「コツンコツン」と音がする	ガス通路を開閉するための電磁弁(電気で開閉するガス弁)が作動するときの音です。異常ではありません。
	点火したとき、「ポン」という音がする	点火音で異常ではありません。
	「ピチピチ」や「カンカン」という音がする	本体内部の加熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。異常ではありません。
燃焼時	運転してもすぐに温風が出てこない	冷風を出さないようにしてあり、機器内が暖まると、自動的に温風が出ます。
	運転中に「シャー」という音がする	ガスの通過音がする場合があります。
	停止してもすぐに温風が止まらない	対流ファンが機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
	間違って電源プラグを抜いてしまったために、すぐに差し込んで運転操作したが点火しない	対流ファンが機器内部を冷やしてから止まります。数分待ってから、再度運転操作をしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法 つづき

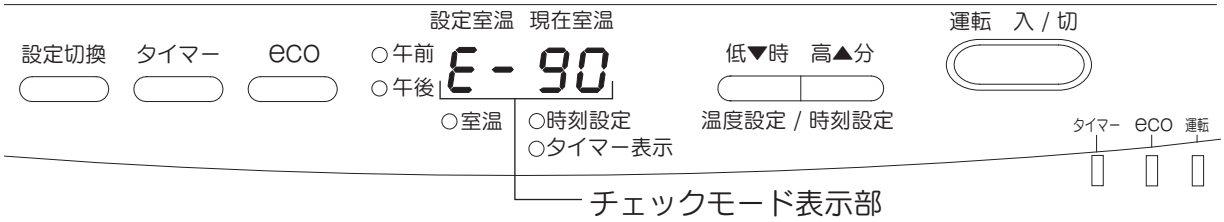
●異常が生じた場合は下表を参照して、お客様ご自身で処置してください。

現象／原因	運転ランプが点灯しない	点火しない	炎が立ち上がる	デジタル表示部に表示されたチェックモード							処置	参照ページ
				表示なし	E-00	E-11 E-12	E-22	E-14 E-15	E-21	※ FIL		
電源プラグがコンセントから抜けている	●			●							電源プラグをコンセントに確実に差し込む	16
省電力表示になっている	●			●							いずれかのボタンを押す	18 28
ガス栓が閉じている		●				●					ガス栓を開く	17 28
ガス栓が開ききっていない		●				●					ガス栓を開く	17 28
停電があった					●						運転スイッチを押しなおす	28
エアーフィルタにほこりがたまっている								●		●	掃除する	28 30
エアーフィルタがカーテン等でふさがっている								●		●	カーテン等を取り除く	28 29
温風吹出し口前方が障害物でおおわれている								●		●	障害物を取り除く	28 29
給排気筒トップの先端がふさがれている			●			●			●		給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取り除く	28 29
地震や強い衝撃があった							●				機器周囲、給排気筒を点検する	28 29
強い風が吹いた									●		給排気筒を点検する	28 29

※『FIL』表示は温度と交互に表示させ、運転は継続します。(34ページ参照)

以上の方法で点検し、処置してもなおらないときは、使用を中止しお買い求めの販売店にご相談ください。

修理をお申しつけのときには故障内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されているチェックモードをご連絡ください。



■チェックモードに下記のような表示が出たときは、お買い求めの販売店へご連絡ください。

E-16　E-31　E-32　E-44　E-61　E-62
E-70　E-72　E-77　E-90　Err

■フィルタサインが表示される場合

「ピッ」音が鳴り、表示部に温度と『FIL』が5秒毎に交互表示されます。
エアーフィルタにほこりが付着して機器内部の温度が上昇しています。運転を継続し、さらに機器内部の温度が上昇すると「ピッ」音が鳴り、温度と『FIL』が1秒毎に交互表示されます。
そのままの状態で運転を継続しますと『E-15』を表示して機器が停止することがありますので、運転スイッチを一度「切」にして対流ファンが停止した後、エアーフィルタを掃除してから再び運転スイッチを「入」にしてください。(30ページ参照)
※機器の使用状態・設置状態によって『E-14』を表示して停止する場合もあります。

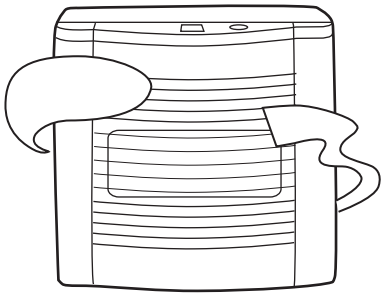
FIL（温度と交互に表示）

このような現象のときは使用を中止し、販売店にご連絡ください

●使用される場所や条件または長時間の使用により、下記のような現象が見られる場合には使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼してください。

燃焼排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする

●燃焼排ガスが漏れているおそれがあります。
燃焼排ガスが室内に漏れていると、危険です。



点火・燃焼・消火するときに「ボン」という大きな音がした

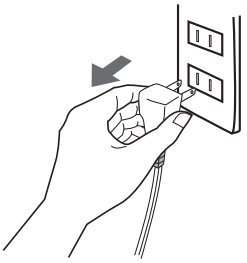
●機器が損傷したり、パッキンが飛散しているおそれがあります。

保管(長期使用しない場合)

●長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。

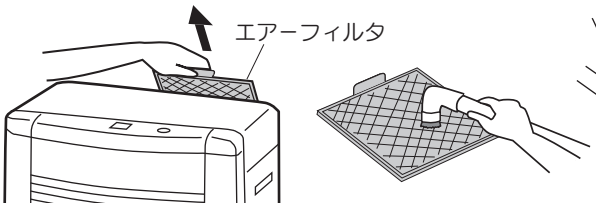
1 電源プラグをコンセントから抜く

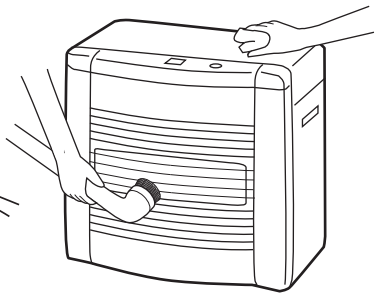
●ぬれた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。



2 機器の外観・エアーフィルタの掃除をする

(30ページ参照)





3 ガス栓を閉じる

4 機器は設置したまま保管する

●やむなく、取り外して収納する場合や、次シーズンに再設置する場合は、お買い求めの販売店へ作業を依頼してください。(有料)

●機器本体は、お客様ご自身で移動したり、設置したりしないでください。

仕様

製品名		FFR-5916G	FFR-5916G-P
形式の呼び		FFR-5916G	
種類	燃焼方式	強制燃焼式	
	給排気方式	密閉式	
	放熱方式	強制対流式	
点火方式		連続放電点火	
暖房出力		13A・LPガス用　5.89kW　(5,070kcal/h)	
		12A用　5.49kW　(4,720kcal/h)	
暖房のめやす	木造(戸建)	13A・LPガス用　温暖地：25.0㎡(15畳)　寒冷地：26.5㎡(16畳)	
		12A用　温暖地：23.0㎡(14畳)　寒冷地：23.0㎡(14畳)	
	コンクリート(集合)	13A・LPガス用　温暖地：34.5㎡(21畳)　寒冷地：39.5㎡(24畳)	
		12A用　温暖地：33.0㎡(20畳)　寒冷地：38.0㎡(23畳)	
外形寸法		高さ610mm×幅680mm×奥行き340mm	
質量		28kg	
電源電圧および周波数		AC100V　50／60Hz	
電源コード長さ		約2m	
消費電力(50/60Hz)	燃焼時	最大 33W／32W　最小 22W／22W	最大 33W／32W　最小 22W／22W
	待機時	0.9W／0.9W	0.9W／0.9W
給排気筒の呼び径		D40	
給排気筒径		60mm	
給排気筒の壁貫通部の口径		80～85mm	
延長の最大長さ		4m3曲がり	
排気温度		260℃以下	
安全装置		立消え安全装置、停電安全装置、転倒時ガス遮断装置	
		排気管抜け検知装置、給排気トップ閉そく検知機能(風圧スイッチ)	
		過熱防止装置(サーモスタット、サーミスタ)	
		過電流保護装置(電流ヒューズ)	
ガス接続		TU1／2 オネジ、強化ガスホース接続	
附属品		ワイヤーバンド(1)、ストッパーリング(1)、断熱カバー(1)	
		壁固定金具(2)、ねじ4×10(2)、ねじ4×25(2)	
		取扱説明書(1)、設置工事説明書(1)、住所一覧(1)	

製品名	形式の呼び	使用ガス 使用ガスグループ	ガス消費量
FFR-5916G	FFR-5916G	12A・13A	13A　7.10kW (6,110kcal/h)
			12A　6.61kW (5,680kcal/h)
FFR-5916G-P		LPガス	7.10kW (6,110kcal/h)

アフターサービス

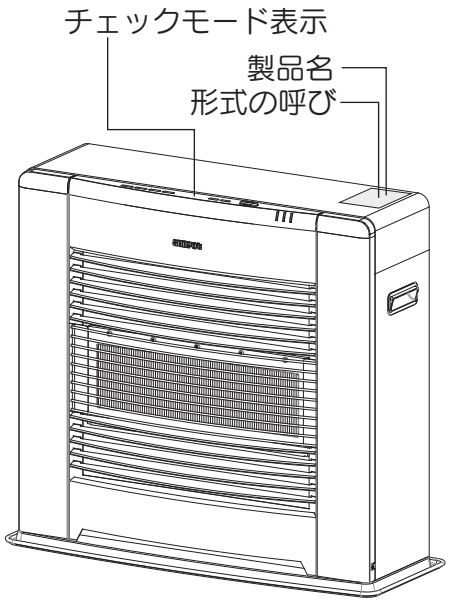
■保証書について

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
●保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■修理を依頼するときについて

「故障・異常の見分け方と処置方法」(32～34ページ参照)に従って点検してください。処置してもなおらないときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご連絡ください。
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理いたします。

ご連絡していただきたいこと	
ご　住　所	
お　名　前	
電 話 番 号	
製　品　名	FFR-5916G FFR-5916G-P
形式の呼び	FFR-5916G
お買い上げ日	年　　月　　日
故障または異常の内容	できるだけ詳しく(表示部のチェックモード数字など)お知らせください。
訪問ご希望日	



●保証期間が過ぎているときは、販売店にご相談ください。
修理によって使用できる場合は、希望により有料修理いたします。
●修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
●ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■転居・移設について

●ガスや電源の種類は地域によって異なり、そのままご使用できない場合があります。
転居先のガスや電源をご確認のうえ、最寄りのガス事業者にご相談ください。
●機器の設置場所を変更されるときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。

■補修用性能部品の保有期間について

●この機器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後10年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

■設置工事は販売店に依頼する

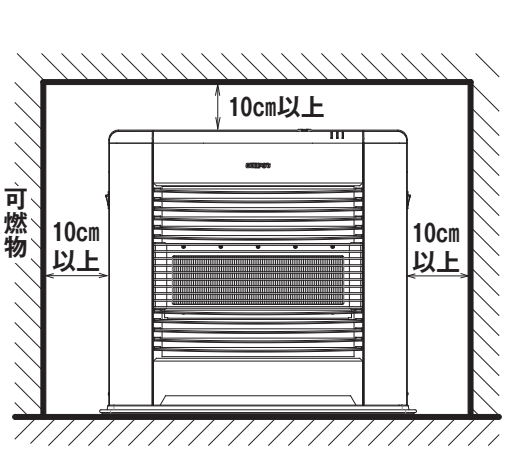
設置工事や移設工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

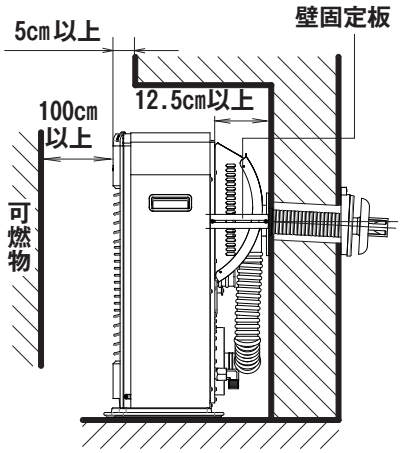
■据付場所の選定および標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
設置工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、下図を参照してください。

【機器から周囲の可燃物までの離隔距離】

●防火上、必要な可燃物との離隔距離は
上方：4.5cm以上　側方：4.5cm以上　前方：60cm以上となっておりますが、
保守管理および性能上、下図の離隔距離を確保してください。

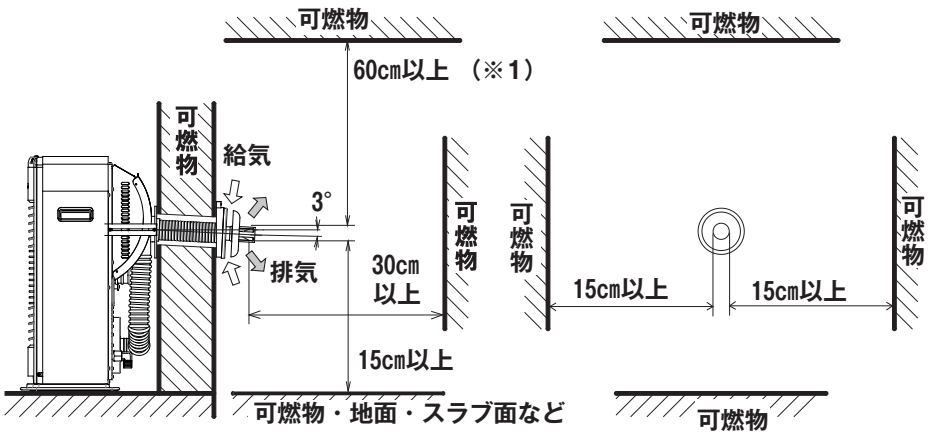




●機器が囲われる場所に設置する場合の内部やその周辺は、できるだけ不燃材料または準不燃材料、あるいは防熱板で仕上げを行ってください。また、機器は必ず壁面より5cm以上手前に出してください。

据付け つづき

【給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離】



注(※1)
60cm以上の寸法は、不燃材を使用する場合は30cm以上とする。

●給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害がないこと。
●図では可燃物までの離隔距離を示していますが、性能維持のため、不燃物などの場合も上図離隔距離としてください。
（※1 部は除く）
●図の寸法は防火上必要な寸法であり、燃焼排ガスが滞留しない寸法ではありません。

■給排気筒を延長する場合の注意

給排気筒を延長する場合は、4m3曲がり以下で取り付けられる場所を選定してください。
高さ方向の延長は2mまでです。必ずお守りください。

■積雪地区における注意

積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取り付け場所を設定してください。また、風がよどむような場所では、燃焼排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

■据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、設置工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、設置工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

●給排気筒を延長して設置している場合、延長長さは4m以下、曲がりは3箇所以下としてください。

●室温サーミスタ（ルームセンサー）は機器から外し、部屋の温度を代表できる壁面にピンなどで固定されているかを確認してください。

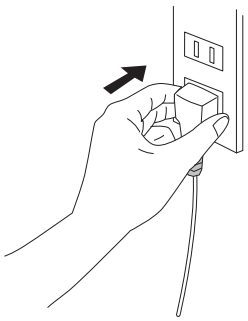
試運転

試運転は、販売店または専門業者と一緒に必ず行ってください。

■運転準備

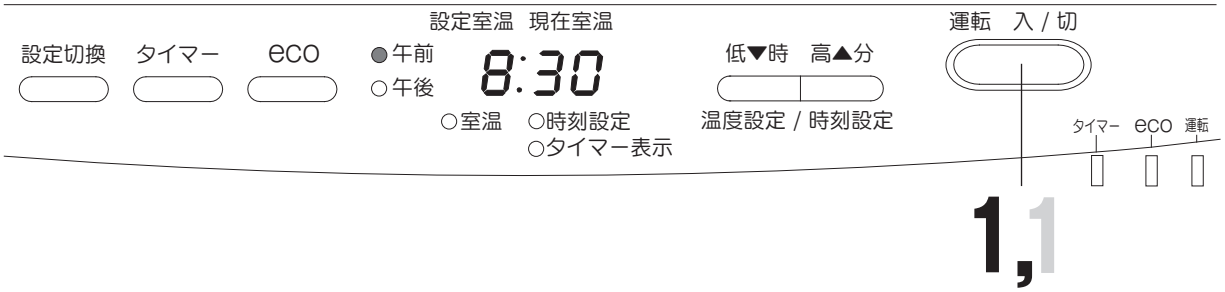
1 電源コードおよび電源プラグの確認

●電源プラグをコンセントに差し込み接続してください。



2 ガス栓を全開にする

●機器と接続されているガス栓を全開にしてください。



■運転

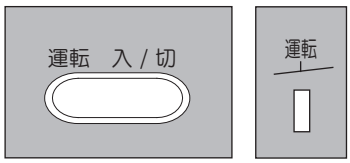
1 運転スイッチを押し「入」にする

●運転ランプが赤色に点灯し、デジタル表示部に設定室温・現在室温が表示され、「点火します」と音声でお知らせします。約15秒後にスパーク音がし、点火します。
●点火してから約30秒後に温風が出ます。
●初期状態では設定室温が「22」℃でeco（エコ）運転が設定されています。eco（エコ）運転を使用しない場合、ecoボタンを押してeco（エコ）運転を解除してください。

■消火

1 運転スイッチを再度押し「切」にする

●運転ランプが消灯し「消火します」と音声でお知らせします。
●対流ファンは機器が冷えるまでの数分間回り続けます。



正常燃焼のめやす
●正常燃焼のめやすとして34ページのような現象がないことを確認します

●機器より煙やにおいが出ることがありますが、耐熱塗料やほこりやパッキン類が焼けるためで異常ではありません。最大燃焼で数十分運転すると消えますので、部屋の換気をしながら試運転してください。

MEMO

△切り取り線▽

保証書（販売店様控）

★ 製　品　名	
★ 製 造 番 号	No.
保 証 期 間	1 年

★お買い上げ日	年　月　日
★お　客　様	ご住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ お名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 電話　（　）

★販　売　店	住所・店名 ㊞ 電話　（　）

★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずお確かめください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

販売店様へお願い

⑴本保証書（販売店様控）および次のページの保証書（お客様控）の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、本保証書は切り取り線より切り取り保管し、次のページの保証書（お客様控）は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
⑵本保証書に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

サンポット株式会社
〒025-0301　岩手県花巻市北湯口第2地割1番地26
お客様相談窓口　TEL 0198-37-1177

保証書（お客様控）

★ 製　品　名	
★ 製 造 番 号	No.
保 証 期 間	1 年

★お買い上げ日	年　　月　　日
★お　客　様	ご住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ お名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 電話　　（　　）

★販　売　店	住所・店名 印 電話　　（　　）

★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずお確かめください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 器具はきびしい品質管理のもとに生産しておりますが、使用される場所や条件、または使用ひん度等で変化することは避けられません。従って未然にトラブルを防止し、末永く安心してご使用いただくために、2シーズンに1回程度シーズンはじめか保管する前のどちらかに、専門技術者による点検整備を依頼されることをおすすめします。点検整備・交換部品の費用はお客様にご負担いただきます。
4. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、住所一覧に記載の最寄りの当社支店・営業所にお問い合せください。
6. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ） 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ） お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   （ハ） 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   （ニ） 特殊使用（例えば、車両、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   （ホ） ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調整の場合
   （ヘ） 本保証書の提示がない場合
   （ト） 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
   （チ） 条例等に適合しない据付工事が行われたことによる故障および損傷
   （リ） 取扱説明書に記載された据付方法に従わない据付工事による故障および損傷
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only Japan.
8. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または住所一覧記載の最寄りの当社支店・営業所にお問い合せください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。
※お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

サンポット株式会社
〒025-0301　岩手県花巻市北湯口第2地割1番地26
お客様相談窓口　TEL 0198-37-1177

愛情点検	●長年ご使用のガスFF暖房機の点検をぜひ！

ご使用の際、こんな症状はありませんか？	●ガス漏れがある。 ●燃焼排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする。 ●運転中異常な音がする。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止	このような場合、事故防止のため使用をせずスイッチを切りコンセントから電源プラグを抜きガス栓を閉め、必ずお求めの販売店に点検修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対なさらないでください。

ご購入(据付)年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.

お客様へ……おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

サンポット株式会社

32400086700A
0501